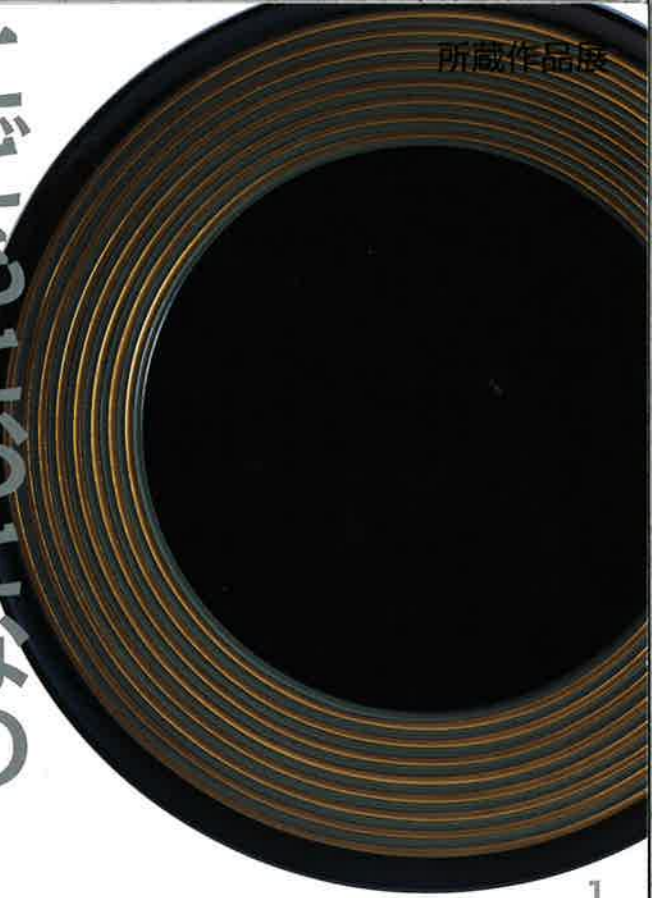


所蔵作品展

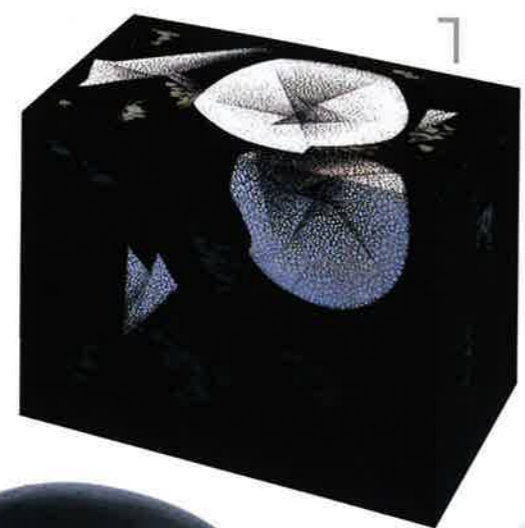


じぎもひおとなの

アミアミ じぎひいかん



2018年
6月19日(火)
8月26日(日)



Crafts Gallery for Kids x Adults: Heat and Pressure

開館時間 = 10:00-17:00 (入館は16:30まで)
休館日 = 月曜日(7月16日は開館)、7月17日(火)
観覧料 = 一般250(200)円、大学生130(60)円
○()内は20名以上の団体料金。消費税込。
○高校生以下および18歳未満、65歳以上、MOMATパスポートをお持ちの方、友の会、賛助会員、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。入館の際、学生証、運転免許証等の年齢が分かるもの、会員証、社員証、障害者手帳をご提示ください。

無料観覧日 = 7月1日(日)、8月5日(日)

主催 = 東京国立近代美術館
MOMAT支援サークル = 木下グループ、LUXURY CARD、三菱商事株式会社、大日本印刷株式会社、アバントグループ



東京国立近代美術館工芸館
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1
東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口) 徒歩8分 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営新宿線「九段下駅」(2番出口) 徒歩12分
お問い合わせ TEL.03-5777-8600 (ハローダイヤル) <http://www.momat.go.jp>

東京国立近代美術館工芸館 MOMAT

日常からスペシャルな場まで、気づけば私たちの日々はいつも工芸とともにあります。たとえばお気に入りの湯呑茶わん。立ちのぼる湯気を吹きながらお茶をすすれば人心地がつき、しっくりとなじむ肌合いもくつろぎの時間を演出します。ありふれた情景に置かれたごく身近なもの。しかし、とりたてて疑問も抱かずに親しんできたそれには、なかに注いだお茶の数十倍もの温度をくぐりぬけた過程があります。そして窯のなかで焼くあいだもその前の成形のときも、圧力に抗し、同時にその力をボディのうちに取り込んでいる。そんなことを感じながら手に取ると、今までよく知っていたはずのものごとがちょっと違って見えるかもしれません。

工芸制作の現場をのぞくと、この温度と力のかかり具合が決め手となっているものが少なくないのに気づきます。ジャパンプルーとも呼ばれる藍染の青を染めるには、藍の葉っぱを発酵させたスクモを使うのですが、発酵床の熱は70度以上になることもあるのだとか。また、染料液につける前に布の一部をギュッと押さえておくとさまざまな模様があらわれますが、これは絞り染と呼ばれる染め方で、正倉院宝物にも伝わる古い技法です。一方、軽くて丈夫な白竹のカゴの象牙のような色ツヤは、煮るか火であぶるかして油を抜き、そのうえ日光にさらして元の緑から変化させた結果。なおも息づくしなやかさが許すギリギリまで押し曲げては組んでいき、パン!と戻ろうとする力でお互いを押さえ込む、それがカゴといういれもの空間を作っているのです。

澄ました顔してそこにある工芸のなんとドラマチックなこと!今回は「熱」と「圧」を切り口として、アツアツなのにクールな工芸観に迫ります。

アツアツプログラム

☆いずれも参加費不要 [18歳以上の方(65歳以上・高校生は除く)は要観覧券] ☆申込制のイベント以外は予約不要(一部先着順)
☆7/23はイベントのみ実施、工芸館は休館 ☆プログラムの詳細は当館ホームページをご覧ください

アツアツめぐるセルフガイド 対象:小学生以下[先着1000名]、中学生以上[先着8000名]

こどもとおとな、それぞれの視点でセルフガイドを片手にアツアツめぐり。

アツアツスタンプラリー 対象:中学生以下[先着1500名]

熱いハートでスタンプを押し!5つ集めた方には小さなアツアツプレゼント。

みんなでつくるアツアツ図鑑 対象:中学生以下[先着2000名]

あなたが見つけたアツアツを絵とメッセージで紹介し、みんなで図鑑を作りましょう。会期中工芸館で大公開。

ジロジロめがね製作工房 対象:小学生以下(家族でタッチ&トークに参加予定の方)

会期中の水・土曜日 13:30~13:55

タッチ&トークご参加前に「ジロジロめがね」を作ってアツアツ度アップ!

家族でタッチ&トーク 対象:お子さん(小学生以下)とご一緒のグループ

会期中の水・土曜日 14:00~15:00

ジロジロめがねを片手に会場でトークしたあとは作品にさわって もっとアツアツ!小さなお子さん連れもお気軽にどうぞ。

*「ジロジロめがね製作工房」に参加できなかったお子さんには工芸館製のジロジロめがねをご用意いたします。

おとなのタッチ&トーク 対象:どなたでも!

会期中の水・土曜日 14:00~15:00

人間国宝の作品が登場することもある「さわってみようコーナー」と会場トークの2部構成。工芸の魅力をもさまざまな角度からご堪能ください。

アツアツギャラリートーク 対象:どなたでも!

6月24日(日) 14:00~15:00 当館研究員

7月8日(日) 14:00~15:00 留守玲(金属造形家)

企画担当キュレーターとアーティスト。それぞれの視点でアツアツ工芸観をご紹介します。

アツアツパッチン!製作工房 対象:どなたでも!

8月19日(日) 10:30~12:00、14:00~15:30 [各回先着30名]

熱いデザインをムギュッと圧して、世界にひとつのオリジナル缶バッジを作りましょう。



【特別陳列】留守玲《点の園》2018 個人蔵



18



15



16



17



14

- 1 赤地友哉《曲輪造彩漆盛器》1960
- 2 久保田厚子《青白磁芥子文大皿》1996
- 3 鈴木照次《木版摺更紗着物 花文》1979
- 4 田嶋悦子《Cornucopia 02-XI》2002
- 5 柴川鐵之助《北のレクイエム》1982
- 6 高橋禎彦《つぶつぶの瓶》2010
- 7 寺井直次《夕顔書類箱》1957
- 8 橋本真之《重層運動膜(内的な水辺)》1982-83
- 9 越智健三《樹想》1970
- 10 加守田章二《彩色壺》1972
- 11 水見晃堂《唐松砂磨茶箱》1964
- 12 福本潮子《時空3》1993
- 13 深見陶治《遙カノ景(望)》1993
- 14 森口華弘《古代縮緬地友禅訪問着 四季の香》1959
- 15 鹿島一谷《布目象嵌蛙と野草文銀離銀接合せ壺》1991
- 16 生野祥雲齋《竹華器 怒濤》1956
- 17 中村ミナト《リング Joint》1994
- 18 十三代今泉今右衛門《色鶴島薄墨石竹文鉢》1982

申込制(抽選)のプログラム

A どもタッチ&トーク

対象:3歳~小学3年生[各回15名]

7月22日(日)、23日(月)、24日(火) 13:30~15:00
タッチ&トークのあとにアツアツグッズを作ります。

B キュレーターに挑戦

対象:小学4年生~中学3年生[12名]

8月3日(金) 10:00~15:00 *昼食持参

工芸館のお仕事体験。作品の取扱いと研究、さらにみんなをアツアツにさせるポスター作りに挑戦!

A/Bの応募はコチラ

→cg-kids2018@momat.go.jp

- ① イベント名(「A どもタッチ&トーク」「B キュレーターに挑戦」のどちらか)
- ② 参加希望日
- ③ 参加者氏名(ふりがな)
- ④ 参加者年齢(学年)
- ⑤ 性別
- ⑥ 住所
- ⑦ E-mail
- ⑧ 携帯電話番号(緊急時連絡用)を明記してください。

しめきり:7月2日(月) 必着

- * 申込多数の場合は抽選。当選者には7月10日(火)までにお知らせします。
- * 参加は、対象年齢(学年)のお子さんのみとなります。
- * 申込に際してご提供いただいた個人情報、本プログラムに関する連絡以外には使用しません。
- * 申込内容に記載漏れなどの不備がある場合は、当選を見送ることがございます。